



相與之股也

京阪九州地方

遊從子左

去九日歸某處

途中右手負傷

目下瘡痕甚多其為

干今之病不古多爾

既海濱了被下

河丸全快後付

年也學子張



年々空しく強^くく
却^つ流^れ少^くの親友
甲^の之^を飛^べ前^の可^く可^く
外^の社会^のの^を答^へ者^者
た^り了^る某^の村^に氏^氏
今^般脚^跡了^る名^を
替^り助^を求^むる^の為^め
山^々素^平頭^下
の^の流^れ名^を仰^ぎ起^す
名^を銀^の女^の依^る
取^らま^ま受^けり^ま書^す
状^持系^系系^系
郵^の以^て引^き見^え
枯^下反^反同^人在^在福^福
口^の力^力

郵政改革ははなはだ
世下を同人は福を
知事の有方者
政改上りも専ら
為るは令方少からず
南極探険も陰に
陽に援護地位に
ありたり馬志者
の志を以て以て
被成りて此如く
特に是れ申上る也
右子負傷時代
平法色紙下
右子負傷也

特子區中上

右子負傷

平法色然下

右子亦也

九月十日 不備

此字亦安

大隈伯爵閣下

一 望云林安

大隈伯爵閣下